

「インクルーシブな学校運営」通信 第4号

カリキュラム・マネージャー

第1回「共に学ぶ会」開催 不登校をテーマに

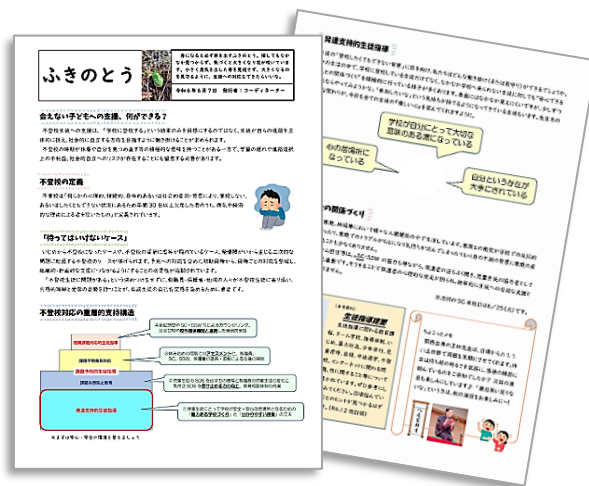
6月19日（木）、令和7年度第1回目の「共に学ぶ会」が行われました。令和6年度から始まった更農と中高養の先生方による共同のミニ研修会は今回で7回目になります。

協議では、義務教育段階から不登校が継続しながらも、家庭との意思疎通により、着実に改善が進んでいるケースなど、在席している生徒に関して意見交換が行われました。

また、オンラインによる学習やその評価など、単位取得に関わる高等学校ならではの現実的な対応についても話し合われました。



更農の先生方



不登校を特集した中高養 Co 発行の通信「ふきのとう」
※ 昨年の「共に学ぶ会」の創設以降、両校の教職員に向けて発行されています。

実施日変更のお知らせ

8月21日（木）に実施を予定していた第3回「共に学ぶ会」は取り止め、8月22日（金）に中高養の先生方も参加できる更農校内研修会を予定しています。

なお、第3回の「共に学ぶ会」で予定していたテーマ「自己表現が苦手な生徒への授業の配慮や工夫」については第4回で扱い、以降研修テーマはスライドします。

※ 7月17日（木）15：45からの第2回「共に学ぶ会」は予定通り実施します。

食品衛生責任者講習会 中高養生徒が受講

6月23日（月）、毎年、更農で開催されている食品衛生責任者講習会に中高養の3年生2名が受講しました。

講習会は8：45～15：25の1日日程で行われ、食品衛生学1及び2、公衆衛生学、食品衛生法1及び2の講義の他、確認試験があり、更農農業科農産加工コースと生活科学科生活文化コースの2、3年生、地域からの一般参加者が参加して行われました。

中高養からは初めての参加で、多少の不安もありましたが、引率した先生によると、2人とも重要な内容について持参したノートにびっしりメモをとるなど、始まりから終わりまで真剣で、立派な受講態度だったとのことでした。



更農の授業に中高養教員がSTで参加

7月1日（火）と8日（火）の2日間、初任段階教員研修の一環で更農設定教科・科目「カルチベーション」の授業に4名の中高養の教員がSTとして参加しました。

学級 1年A組（1日）、B組（8日） 単元名 他者理解（SST）

指導 MT更農教諭 ST中高養教諭2名 計3名によるTT

授業は、家庭などで日常的に起きる葛藤場面を教材化したもので、生徒たちは登場人物の心情や思いについて考えたことを発表し合い、感じ方や立場の違い、ジェネレーションギャップなどについて学習していました。

意見交換はグループ毎に行われ、その後、全体で交流するという流れで行われましたが、グループ内での発表ではSTの先生方がファシリテーターとなり、KJ法の進行を支援したり発言を促したりして、多くの意見が交流されるなどTTが効果的に行われていました。授業後は授業の意図や生徒の反応などについて意見交換を行いました。



中高養美術科作品 更農学校祭で展示

中高養の美術科で制作した作品が更農に展示されました。

この展示は、昨年3学期に中高養から更農に要望していたものですが、十勝振興局や帯広駅など複数の展示依頼と重なったため延び延びになっていたものです。

作品の搬入・展示は7月4日（金）に両校の先生方によって行われましたが、展示作業中に、その傍を通りかかった生徒たちが、ヒグマやエゾシカなど実物大の作品の迫力に、「こんなに大きい!?」などと感想を口にしながら足を止め、見入っていました。

更農では12日（土）に学校祭が予定されており、来校する方々にも観てもらおうことになっています。

